



学びの高嶺

校訓 感謝・努力・友愛

北九州市立高見中学校
学校だより 第5号
令和5年5月26日(金)
校長 若松 英昭

北九州視覚特別支援学校との交流

5月17日水曜日の5・6時間に、1年生が北九州視覚特別支援学校を訪問しました。北九州視覚特別支援学校には、幼稚部3名、小学部3名、中学部4名、高等部専攻科7名、計17名が通っています。今回、中学部の4名の皆さんと先生方と交流する時間になりました。

今回の訪問では「視覚特別支援学校について知ろう」をめあてに、「スポーツ」、「アイマスク体験」、「日常生活用具・学習用具」、「点字について」の4つのことを体験したり、学んだりしました。

「スポーツ」では、STT(サウンドテーブルテニス)を体験しました。STTとは、音の鳴るピンポン球を、アイマスクをした状態で打ち合い、点数を競うスポーツです。

一般的な卓球と異なり、卓球台から4.2cm上げたネットの下を転がします。球が卓球台から落ちないようにエンドフレームとサイドフレーム(高さ1.5cm、厚さ1cm)を取り付けられています。

審判の「プレー」という声から10秒以内に、サーバーは「いきま

す」と声を出し、レシーバーが5秒以内に「はい」と言ってから、5秒以内に試合開始。金属が入った音の鳴るピンポン球を、ラバーの貼っていない木製ラケットで、相手コートに打ち返します。打った球が、相手のラケットに触れる前にエンドフレームに当たれば得点。ただし、フレームに当たっても、球が台から落ちたり、打った球がネットに触れて、相手コートに達しなかった場合、相手の得点になります。1ゲーム11点で、5ゲームマッチ。3ゲーム先取したプレイヤーが勝ちです。

「アイマスク体験」では、実際にアイマスクを着け、ガイドと廊下を歩いてみました。ガイドが目の不自由な人の斜め半歩前を歩くことや、出発するとき、止まるとき、曲がる時、階段をのぼるときなどは、必ず次に何をやるのか言葉で伝えること「声かけ」が大切であることを教えていただきました。

「日常生活用具・学習用具」では、私たちの身近にある点字表示されたものの説明を聞き、工夫されていることを知りました。例えば、ジュースなどの缶とお酒などの缶を区別するために、お酒の缶には、点字で「さけ」と書かれています。学習用具では、普段私たち



STT 勝負のカギを握るのは、音を聞き分ける「集中力」



アイマスク体験



牛乳パックは「切りかぎ」というへこんだ部分がありました。

が使っている教科書とは違った「拡大教科書」「点字教科書」なども見せていただきました。

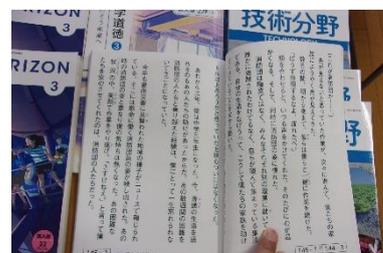
「点字について」では、実際に自分の名前を点字で書いてみました。また、弱視の方の見え方などについても教えていただきました。



見え方についての説明

【今日の交流で学んだこと】 1年1組 T

今日はアイマスク体験や点字の説明を受けて、今、自分が見えている景色があたりまえじゃなくて、全盲の方や景色の見え方が違う人もいることを知りました。これからは町の中で、白杖を持って困っている人がいたら声をかけてあげて少しでも補助できたらいいなと思いました。



拡大教科書

【今日の交流で学んだこと】 1年1組 T

視覚しょうがい者の方が、どんな気持ちで生活しているのかわかりました。見えないと怖くて不自由でした。だけど、何もできないわけではなく、道具や工夫によって、できることはたくさん増えることもわかりました。

困っている人を見かけたら、声をかけて手伝うことで、私ももっと力になれることが分かったので、今後気をつけていきたいなと思いました。



私たちの身近な物にも工夫がたくさん!

【今日の交流で学んだこと】 1年2組 A

身近にも不自由な人のための工夫があるとわかりました。学んだことは、不自由だから、しょうがいを持っているからという理由だけで、かわいそう助けてあげないといけないなどという上から目線で行動しないことです。私たちの「普通」と不自由な人たちの「普通」。これを比べることによって差別や違いとしてとらえるのではないかと考えました。少しの違いを大げさにとらえられると大きなへだたりが生じます。これからは交流などを通して、不自由は人たち、そしてそのような人の生活などがめずらしいなどという感情をなくし、私たちの日常の一部として当たり前のように存在し、当たり前のように助け合える社会になってほしいなと思いました。また、違いを互いに受け入れ多様な社会、誰もが暮らしやすい社会をつかっていきたいです。

今回の交流で多くのことを学ぶことができました。視覚特別支援学校の方々には感謝しかありません。このたびはどうもありがとうございました。不自由な人への対応やゆう導の手順など体験させていただいたことでより理解することができました。これから学んだことを生かしていきたいと思います。

実は、この学校だよりも弱視の人や文字を読むことが困難な人に配慮した工夫をしています。どんな工夫をしているかわかりますか？

